

農業試験場水稻試験圃の生育状況 (令和7年)

農業試験場八重森圃場 (標高334m)

調査時期	調査項目	あきたこまち				コシヒカリ				風さやか			
		前年 (R6)	平年	本年 (R7)	平年差	前年 (R6)	平年	本年 (R7)	平年差	前年 (R6)	平年	本年 (R7)	平年差
移植後 20日	主稈葉数 (枚)	6.4	6.2	6.4	0.1	6.4	6.2	6.2	0.0	6.3	6.3	6.0	-0.3
	草丈 (cm)	28	26	28	108%	29	29	31	105%	27	27	29	108%
	茎数 (本/m ²)	187	197	111	56%	194	195	119	61%	229	229	185	81%
移植後 30日	主稈葉数 (枚)	8.1	7.8	8.3	0.5	8.2	8.0	8.2	0.2	8.2	8.2	8.0	-0.2
	草丈 (cm)	37	35	37	105%	40	38	40	107%	35	35	37	105%
	茎数 (本/m ²)	433	430	403	94%	475	435	360	83%	543	543	440	81%
移植後 40日	主稈葉数 (枚)	9.3	9.3	10.3	0.9	9.4	9.4	10.2	0.8	9.4	9.4	10.2	0.8
	草丈 (cm)	52	47	57	121%	54	49	58	117%	46	46	52	113%
	茎数 (本/m ²)	596	621	695	112%	649	632	709	112%	728	728	775	106%
幼穂形成期	期日 (月日)	7/7	7/7			7/11	7/13			7/14	7/14		
出穂期	期日 (月日)	7/25	7/27			8/3	8/5			8/6	8/6		
成熟期	期日 (月日)	9/1	9/5			9/9	9/14			9/14	9/14		
	稈長 (cm)	85	85			98	96			81	81		
	穂長 (cm)	19.8	18.6			19.1	18.9			18.1	18.1		
	穂数 (本/m ²)	440	479			431	465			416	416		
	玄米重 (kg/a)	63.4	65.7			57.8	62.4			67.8	67.8		
	千粒重 (g)	22.1	21.6			22.0	21.4			22.7	22.7		
	総粒数 (粒/m ²)	35,585	38,468			33,339	42,442			36,344	42,249		
	登熟歩合 (%)	86.7	82.2			82.4	76.3			84.8	77.0		
登熟粒数 (粒/m ²)	30,852	31,302			27,471	32,234			30,819	32,396			

平年値は平成30年～令和6年の収量の最大、最小年を除く7中5年の値。

移植日: 令和7年5月20日、苗質: 中苗、移植法: 1株3本手植え、栽植密度: 22.2株/m² (30cm×15cm)

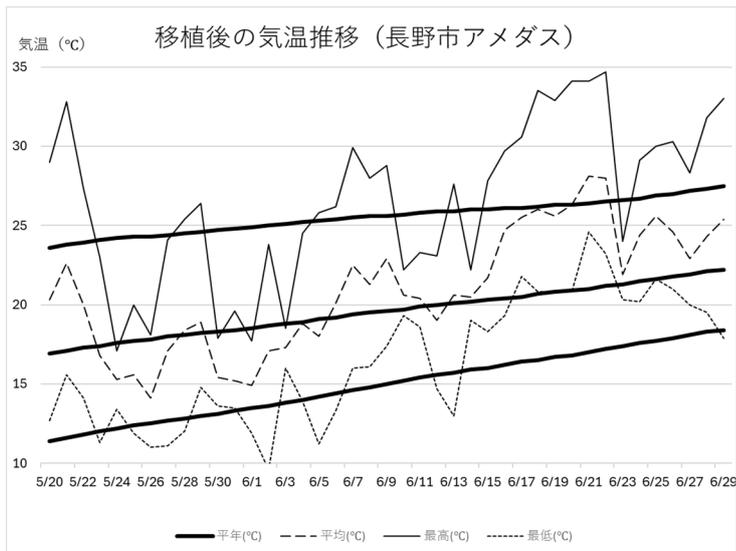
苗丈(cm)および葉齢(L): 「あきたこまち」 20.8 3.1 「コシヒカリ」 23.1 2.8 「風さやか」 18.7 2.2

<概要>

移植後20日の生育 主稈葉数は3品種ともほぼ平年並。草丈は平年より長く、茎数は平年より少なかった。移植時は高温であったが、その後低温寡照の期間が続いたことから活着が遅れたためと考えられる。

移植後30日の生育 主稈葉数は「あきたこまち」で平年よりやや多く、「コシヒカリ」「風さやか」でほぼ平年並みとなった。草丈は3品種とも平年よりやや長い。茎数はいずれも平年より少ないが、特に「あきたこまち」「コシヒカリ」では回復傾向にある。これは6/13以降の高温により、分けつ発生が促されたことによると考えられた。

移植後40日の生育 主稈葉数、草丈、茎数とも、3品種全てが前回調査と比較して急激に増加して平年を上回った。この期間はかなりの高温傾向であり、非常に生育が旺盛であった。



<参考>気象概況(アメダス長野観測値)

期間	平年差	
	平均気温 (°C)	日照時間 (hr)
移植直後～10日	+0.3	-0.6
【参考】 移植直後～2日	(+3.9)	(+2.6)
移植後3～12日	(-1.8)	(-3.2)
移植後11～20日	-0.8	-1.8
移植後21～30日	+2.1	-0.8
移植後31～40日	+3.8	+1.3